「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		ひとり親家庭・女性相談事業費 [ひとり親・女性相談事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 5	母子福祉費	事業番号	1	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	子育て支援 課			ひとり親・女性相談 係		課長名	新海 隆弘		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 4		
【施策名】 児童福祉の推進						総合計画書(ページ)	59		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	ひとり親家庭の母又は父及び女性でさまざまな悩みを抱え、相談を希望する方			東大和市内に在住する18歳以上65歳未満の女性の人数及び父子家庭の数					
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
問題点の整理や問題解決に向けた理解を深め、エンパワメントを高め、悩みの解決に向けて進むことができる。その結果、自ら問題解決する力をつけ、安定した生活を営むことができる。			相談により問題が改善の方向に向いたと感じた方の数/相談件数						
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
相談員が面接等でひとり親・女性のさまざまな相談に応じ、問題解決に向けて、問題点の整理や必要な情報提供を行い、今後の生活について方向性をつけるよう支援を行う。			年間相談件数(延) 341件						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
	対象指標	①の数値	世帯	24,198 (対象女性人数)	23,994 (対象女性人数)	23,858 (対象女性人数)			
	成果指標	②の数値	%	不明	不明	不明			
	目標	②の目標値	目標値設定の考え方						
活動指標	③の数値	件	429	289	341				
3 経費	事業費(実績)		円	2,826,838	3,185,337	2,383,727			
	財源	一般財源	円	1,421,838	2,573,337	1,666,727			
		特定財源	円	1,405,000	612,000	717,000			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.7	0.7			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
	職員人件費(再任用以外)	円	4,126,500	5,770,800	5,817,000				
職員人件費(再任用)	円	0	0	0					
事業費+人件費		円	6,953,338	8,956,137	8,200,727				
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度						
	(2) 環境の変化		平成18年度から市の相談員を生活福祉課に置いた。平成20年度から子育て支援課に母子・婦人相談員を設置し、平成24年度から母子・女性相談員に名称変更。平成26年10月の母子及び寡婦福祉法改正により父子家庭の相談が加わる。平成27年度から、ひとり親・女性相談係に名称変更。						

事業名称	ひとり親家庭・女性相談事業費【ひとり親・女性相談事業】		
担当部署・課長名	子育て支援	課	ひとり親・女性相談 係 課長名 新海 隆弘

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 家庭内紛争に関する相談、ひとり親になるにあたっての生活費の確保、子どもの学費の貸付や給付金の相談等経済的支援に関する内容が多かった。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない 取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 相談者に寄り添い、相談者に合った内容、タイミングで情報を提供すること。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 ひとり親家庭等を支える他制度に関する情報を収集し、適切に情報提供を行い支援した。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 社会情勢の変化に応じた相談、相談者に必要な情報提供に努める。
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 児童福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 周辺制度の改正等に常にアンテナを張り、情報収集に努める。他自治体や関係団体との情報交換を蜜に行う。
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 情報収集のための会議や連携会議、連絡会への出席の時間を確保する。